



2011-12



RIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」会長/Kalyan Banerjee(カナダ)
 2620地区のテーマ「今こそロータリーの真価が問われる時」ガバナー/積 惟貞(沼津)
 パワー浜松ロータリークラブのテーマ「語ろう未来、踏み出そう一歩」会長/坂井光蔵

週報

第430 回例会3月 6日(火)AM 7:30~8:30 オークラクトシティホテル浜松4F平安の間

■司会: 木村満義

■点鐘: 坂井 光蔵 ■ロータリーソング: 夢のみずうみ

■ゲスト

■ビジター: 鈴木邦彦様

会長挨拶

今、マスコミでAIJと厚生年金基金のことが毎日のように取り上げられています。運用のプロがどうして分からなかったのかとか、投資に素人の社会保険庁の職員が沢山天下りしているとか大きく報道されています。私は、我社の所属している業界の、総合型厚生年金基金の理事をしていました。そうした基金を運営していくには、投資ではなくて制度や書類作成に通じた職員が必要であり頼ってしまう構図があります。また、理事・代議員等は業界の中から選出していますから、委託先の信託銀行や生命保険会社などの運用状況を独自に調査する事など不可能で、委託先の報告を信用するしかないのです。こうした厚生年金基金の実態は分かっていた筈なのですから、金融庁の責任転嫁でしかありません。我社の加盟した基金も運用に苦慮して、将来に禍根を残すと3年程掛かりましたが、解散致しました。今思えば、解散しておいて良かったと思います。この低金利が続く中で、5.5%の運用利回りが条件の確定給付型年金など成り立つ訳が無いのです。1年定期の金利が5~6%の時代の遺物から早く脱却するよう抜本的な改革が必要なのです。

委員会報告

会員増強維持委員会 諸星 圭吾
おはようございます。

例会終了後、新会員の方の第1回目のオリエンテーションがありますので、関係者の方はご出席をお願いいたします。

また、本日は例会見学という形で、3月27日に紹介式を行います中野雄介さんがお越しになっていますので、お名前をご紹介させていただきます。

4月28日に合同入会式をおこないますが最終の推薦書の締切を3月17日としておりますが、再度、お近くの方のご推薦をお願い申し上げます。

ご協力よろしくお願い申し上げます。
采田記念部会 村田正彦

先週の土曜日に2620地区の米山記念奨学生の方の3月で卒業される方の修了式を米山梅吉記念館で行うために、我くんと一緒に行ってきました。その場の判断で9月に卒業する我くんとチョウさんの修了式も一緒に行うという事になりました。

9月の卒業の時は浜松地区で何か出来ればと思っています。

ご報告します。



出席

94名中67名78.2%
前々回修正出席率76.6%

幹事報告

- (1) 本日はレターケースにロータリーの友と地区ガバナー月信3月号が入っていますのでご覧ください。
- (2) 第4回臨時理事会の決議事項をご報告します。
今年度の新入会員16名は、現在ロータリー情報部に配属されていますが、会員との交流をより一層深める為、部会の再配属が決定しました。
- (3) 本日は例会終了後、第4回新会員予定者のオリエンテーションが、3階メイフェアの間で行われます。関係者の方は宜しく願います。
- (4) 第9回の役員会を、明日8時より事務局において開催しますので、関係者の皆様は宜しく願います。

スマイル報告

奥山恵理子: 3月11日(月) 14時~、18時~、舞阪文化センターにて、浜名湖を舞台としたシニアと子どもたちによるふるさと賛歌の音楽劇「ひみつのたからもの」が上演されます。浜松在住の児童文学作家なすだみのる先生の原作、ベルリン在住の息子さんである那須田淳先生が脚本を、同じく浜松出身で海外でも活躍中の佐藤賢太郎先生の作曲で作品が出来上がりました。東京を中心に活躍中の娘・奥山ちえのが、演技指導と出演させていただきます。舞阪を中心に浜松市内在住の5才~70才までの30名の方々に5名の応援が加わり完成させました。浜松市制100周年「100夢プロジェクト」参加作品です。まだ、入場券がございます。「家族で楽しむ音楽劇」です。お時間がありましたら、お出かけ下さい。

小粥勝好: お早うございます。又、久しぶりになってしまいました。嬉しい発見があったので報告します。昨年入会した伊藤勝人さん。実は私の兄の同級生、2歳年上の剣道部の先輩でした。初めてお会いした時「どこかで会った事がある」「名刺交換した時、やっぱりよく似た人がいるものだ」「家に帰ってから家内に、福田中学の先輩によく似た人にお会いした」と話しをしたものです。先輩、今後共、クラブを盛り上げて下さい!!

小田木基行: 先日、亡き母の葬儀に御会葬頂き、又過分なご芳志をたまわり、ありがとうございました。

竹林克己 [村伸樹]: 風岡祐貴君、今日はドイツ留学の楽しい話をありがとうございました。ドイツでの貴重な経験を生かして、頑張ってください。ロータリーが縁で、現在私は、(株)サクラ・アイ・ディーのドイツ営業として、ダイムラーベンツ社の新世代エンジンのホーニング加工技術の営業補佐をしています。ビジネスや技術は、国境を越えて人と人を結びつけます。ロータリークラブはそんなグローバルな世界を、チャンスに変えてくれました。今日、風岡祐貴君のドイツの卓話を聞いて、改めて、交換留学の機会を与えていただいた、ロータリークラブの皆様感謝いたします。ありがとうございました。



2011-12



RIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」会長/Kalyan Banerjee(カナダ)
 2620地区のテーマ「今こそロータリーの真価が問われる時」ガバナー/積 惟貞(沼津)
 パワー浜松ロータリークラブのテーマ「語ろう未来、踏み出そう一歩」会長/坂井光蔵

議事卓話

第430 回例会
 2012年3月6日
 財団プログラム部会

風岡祐貴氏卓話 「国際親善奨学生としてドイツで何を学び何をしてきたのか？」

国際親善奨学生としてドイツで学んできたこと

留学して一年、二年と時間が経過すればするほど、あの時の経験が生かされています。

私が留学したドイツは、医学や数学、化学といった理系の分野が発展しているだけでなく、文系にも研究の蓄積がありました。

自分の専門分野のドイツ文学について図書館に行って資料を集め、それぞれの本に目を通すとそれを実感しました。

理系のように明確な公式や実験方法はなくても、細部を徹底的に分析する仕方で行われていました。

ドイツで学んできたことは、これから研究やドイツ語教育を通して役立てたいと思います。それは、日本とドイツの間の親善や理解の促進につながるはずです。

失敗からは、多くのことを学びました。生活習慣の違いは、日本で生活していれば苦もなくてできることを難しくします。

困難に直面したとき、ホストのロータリアンに励まされ、忙しい中時間を割いて助けてもらいました。ロータリアンから「もし自分が日本で生活したら、同じような問題を抱えるかもしれない。だから落ちこむことはない。」という言葉に支えられました。

こうした経験を少しでも役立て社会に還元し、ロータリーに恩返しができたらと思います。

卓話に招いて下さり、本当にありがとうございました。

写真は留学したボン大学と、卓話で紹介したドイツのロータリークラブの例会です。

